



警備業に新しい風

有限会社ユニバーサル・ガード

今回紹介する(有)ユニバーサル・ガードは、長崎市玉園町に拠点を持つ警備会社であり、交通警備やイベント警備などをメインに行っている。近年、よりセカンドキャリア化する警備業全体の問題点として、深刻な人材難・高齢化が挙げられるが、当社においては効果的に新規スタッフの採用を進めてきている。人材育成にも積極的でチームビルディングにも独自の方法を採用している会社だ。その舵取りをしている田崎相代表は、20代の経営者であり、固定概念にとらわれない企業運営を行っている。現在は人数や取引先も増えたことで、大分、熊本にも支店を開設している。メディア戦略にも実に長けていて「所ジョージの世田谷ベース」にも紹介記事が出された。「プロトタイプなセキュリティ会社のイメージを変える」若手社長の次なる手に業界のみならず多方面から注目が集まっている。

こだわりのオフィス

初めてオフィスに入った時、その「お洒落さ」に



おしゃれなオフィス。デスクはフリーアドレス方式を採用

入る事務所を間違えたかと思った。内装、インテリア、照明などこだわりの空間が広がっており「ここが警備会社のオフィス？」と誰しもが思うことだろう。サプライズは記憶として残り、すぐに認知してもらえるとのこと。作業服やヘルメットなど古びたアイテムは全て刷新し、機能性のみならずデザインにもこだわりをもっている。移動中や仕事の中にも、カッコよさを大切にしている。「社員も来社されるお客様にも楽しみを持てるように」と、代表の想いは細部にまで宿っている。

地域の社会貢献活動も

警備業として、駐車スペースを借りたりすることはよくあるそうだが、ここでもひと味違う。草が生い茂る場所でもあえて選ぶのだ。小まめに草刈りをするのが困難な高齢者が多い集落などでは、当社が場所を借りる代わりに草刈りや清掃を行うのである。「きれいにしてくれて助かった」「通学路で子どもたちが通りやすくなった」「不法投棄がなくなった」「うちも使っていいから是非」



草刈りの様子。茂みからは投棄ごみがたくさん出てきます